

箱根土曜塾からのお知らせ No. 9

～「箱根土曜塾」で活躍する講師について その2～

箱根土曜塾では、受講生の学力に応じてグループ（5名前後）に分かれ、各グループの講師が受講生に合わせたプログラムにより、授業を行っています。前回に引き続き、箱根土曜塾で活躍する講師を紹介します。

- ①氏名 ②箱根土曜塾の講師に応募したきっかけ  
③(受講生・講師にとっての)箱根土曜塾の魅力 ④受講生へのメッセージ

- ①田嶋 克成  
②箱根が好きだから。  
③少人数制なので生徒と講師はもちろん、生徒同士でも学びあえるところ。  
④自信を持って挑もう！

- ①関本 雄大  
②中西先生からの紹介。  
③いつもと異なる授業形式のため、どうすれば授業が楽しく盛り上がるのかを改めて考えさせられ、これからの教場のモチベーションもあがるどころ。  
④最後まで諦めずに、一緒に頑張りましょう！！

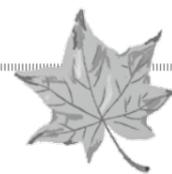


※左から3名の講師は、前回紹介しています。

- ①野口 響希  
②先輩である平野講師からの紹介。  
③箱根土曜塾の生徒は明るくて積極的でよく質問してくれることが嬉しい。  
④勉強で分からないところは友達と教えあったり、土曜塾の先生に質問したりして一緒に受験を乗り越えて行きましょう！

- ①宗野 光希  
②田嶋先輩から紹介があり興味を持ったから。  
③受験は都会に住む方が有名塾が多いため有利などと言われるが、それを覆すための取り組みとなっているところ。また少ない人数に先生が対応できるため、集団よりも学ぶことが多いこと。  
④あともう少しですね!! 最後まで後悔のないように毎日を過ごしてくれたら嬉しいです！

箱根土曜塾についての詳細は、教育委員会学校教育課まで！(☎85-7600)



環境省からのお知らせ

箱根町はほぼ全域が「富士箱根伊豆国立公園」に指定されています！

国立公園の中では「自然公園法」により、各種行為が規制されています。

【特別地域】「要許可」

- ・建物を含む工作物の新・改・増築、木竹の伐採、鉱石・土石の採取、広告物の設置、土地の形状変更、色彩の変更、その他

【特別保護地区】「要許可」

- ・特別地域で許可を必要とする行為、木竹の損傷・植栽、動物を放つこと、屋外に物を集積・貯蔵すること、火入れ及びたき火をすること、植物を採取・損傷すること、動物を捕獲すること、その他

【普通地域】「要届出」

- ・基準を超える工作物の新・改・増築、広告物の設置、鉱物・土石の採取、土地の形状変更、その他

許可・届出なく規制行為を行うと、自然公園法違反となってしまいます！皆様のお住まいの地域ではどのような行為が規制されるのかなど、詳しくは下記事務所に問い合わせてください。



照会先 環境省 富士箱根伊豆国立公園管理事務所  
〒250-0522 箱根町元箱根164  
☎84-8727 FAX 84-9349 E-mail NCO-HAKONE@env.go.jp



「家庭教育を考える」  
～地域でささえる・地域へつなぐ～

みなさんは、お子さんに対して「何でこんなことも知らないのだろう」と思うことはありませんか。学校で毎日子供たちと接していると、「知っていると思っていたけれど、まだ知らなかったんだ」と思うことが度々あります。逆に、「小学生でそんな言葉、よく知っているな」というようなこともあります。みなさんは、いかがでしょうか。

小学5年生の音楽の教科書に「春の海」(宮城道雄作曲)という曲が掲載されています。箏と尺八で演奏されている曲で、お正月によく流れている曲といえばイメージできる方も多いでしょうか。五年生の音楽の授業でこの曲を扱ったときのことです。授業の振り返りの中で「尺八という楽器を知れてよかったです」「初めて尺八の音色を聞いて、すごく落ち着く音だと思いました」というように、尺八を初めて知ったという内容がたくさんありました。私は、とても驚きました。尺八なんて、小学5年生になれば知っているはず、と思っていたからです。私自身は、5年生のときには、尺八の存在や音色は知っていました。

そこで、なぜ自分は知っているのかを考えてみました。思い返せば、私と尺八との出会いは、テレビの時代劇や歌番組でした。毎日、夕方になると祖父が見ていた時代劇、下校後何気なく一緒に見るようになりました。時代劇の中で、虚無僧が尺八を吹いていました。日曜日のお昼には、家族で歌番組を見ていました。様々な種類の楽曲がある中に民謡があり、尺八や三味線などの和楽器で演奏していました。自分から進んで見ていたわけではないけれど、見ている中でどのようなものかを知り、言葉を覚えたのだということに気が付きました。野球のルール、日本舞踊、天気予報、花の名前など、同じようなことは他にもたくさんあります。周りの環境が、自分の語彙や知識を増やしていくのだなと思いました。

今は、インターネット等の普及で、自分が興味のあるものの情報をたくさん得ることができ、突き詰めていくことができます。逆にいうと、自分が興味のないものについては、触れにくい環境にあると言えるのではないのでしょうか。興味がないものも自分の世界を広げるものになる。そう思って様々なことやものに触れる機会をもってほしいと思うのです。

寄稿 箱根の森小学校

照会先 教育委員会生涯学習課 ☎85-7601